

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	地域福祉計画事業			
予算科目	3 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	526
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	米湊 明弘
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 20 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象				
根拠法令等	社会福祉法			
事業の目的	地域福祉の推進			
事業の内容	「市町村地域福祉計画」と社会福祉協議会が定める「地域福祉活動計画」を、市民と共生のもと、一体的に作成する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	次回の計画策定年次に向け、他の社会福祉団体と共に地域課題について協議検討を行っていく。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	0	163	0	0
	人件費	813	159	79	159
	合計	0	322	79	159
人件費 内訳	人工数	0.10	0.02	0.01	0.02
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	813	159	79	159
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	813	322	79	159

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
事業費	千円	0	163	0	

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	170	170	3,100	0	0	3,440

成果指標				
成果指標	事業費			
指標設定の考え方	事業費によって成果を計測する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標27年度
目 標	170	170	0	0
実 績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度は、社会福祉団体と共に計画進捗状況について協議検討を実施したが、予算執行とは至らなかった。次期策定年度29年度			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成25年度から平成29年度(5年間)を計画期間とする地域福祉計画を策定している。策定2年目の事業検証ができなかったのは、計画策定目標に年度単位の数値で表す指標がないことや5年間を通じた体制整備支援であったり目標であったりと、具体的に検証できる施策が明示されたいないことがある。しかしながら、来年度は中間年なので、事業の検証と課題解決に向けた取り組みについて、評価・検証を行いたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	事業費が未執行となっており、次年度は中間年度の検証等、確実に事業を執行する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。